

去る2月8日、第2回ナイトセミナーが秋田大学医学部総合研究棟で開催された。今年度のテーマである「医療統計」、会員の過去の発表からデータの統計処理についての質問や疑問を発表し、村田先生よりコメントいただくという形式で行われた。3名の会員より発表があり、的確なかつ活発な意見が交わされた。佐々木会員からは、心臓 CT における冠動脈の造影能のバラツキを無くすための計算式を、過去のデータから統計処理により求めるもので重回帰分析を用いられた。虻川会員の発表は、アシアロシンの画像取得法・再構成処理と仮想区域のボリュームの変化を多重比較の二元配置分散分析を用いて検討した。谷口会員は直線回帰式の誤用例として $Y=aX+b$ と $Y=aX$ の違いについて村田先生より解説を得た。

現在、統計は国会でも話題となっておりその手法如何では見方が変わる、意味が変わるものとして大変重要と考える。昨今、根拠に基づく医療 (EBM) 叫ばれて久しいが、これら統計手法を駆使して県民に EMB を提供するのも私たちの役割なのだと感じた。

(記 谷口 直

人)



